

敦賀発電所 1 号機の原子炉手動停止について

当社、敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉：定格出力 3 5 万 7 千キロワット）は、平成 9 年 1 0 月 7 日に制御棒駆動水圧系水圧制御ユニット（HCU）スクラム弁のダイヤフラム取替のため発電を停止し、1 0 月 1 8 日に発電を再開、1 0 月 2 0 日より定格出力にて運転を行っていましたが、1 0 月 2 3 日 1 1 時 0 1 分頃、制御棒駆動系の定期試験において、制御棒 7 3 本のうちの 1 本が作動しないことが分かりました。このため、規定に基づき、当該制御棒の制御ユニットを隔離するとともに、運転継続にあたって原子炉の安全上問題ないことを評価・確認しました。

その後、制御ユニットの制御電磁弁の動作確認等の調査を行ってきましたが、原因を特定できなかったことから、念のため原子炉を手動停止し、制御棒や制御棒駆動系の点検調査を行うこととしました。

本日 1 8 時から出力降下を開始（同日 2 3 時頃発電停止）し、翌 2 5 日 6 時頃原子炉を停止する予定です。

なお、この事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

以上

（通商産業省の I N E S * による暫定評価）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0 —	0 —

* I N E S : 国際原子力事象評価尺度以上

【用語解説】

制御棒駆動系とは。

原子炉の起動・停止等を行うため、制御棒を水圧にて駆動する装置で、敦賀発電所 1 号機の場合、7 3 台設置されている。

図－ 1 制御棒駆動水圧系系統図

制御棒駆動水圧系系統図

